

2021年8月22日

第29回日本運動生理学会大会

一般演題（ポスター）発表 若手奨励賞審査結果

厳正な審査の結果、以下の5演題が若手奨励賞として選出されましたことを、ご報告いたします。受賞された5名の若手研究者に心よりお祝い申し上げますとともに、さらなるご活躍をお祈り申し上げます。

◇最優秀賞（2演題）◇

船橋 大介（東京都立大学）

P-31 幼少期の経験が成熟後のマウスの身体活動量と脳機能に及ぼす影響：認知的刺激が豊富な豊かな環境に着目して

谷村 陸（筑波大学）

P-33 マウス下腿に対する高強度筋収縮の運動量とマイオカイン発現量の関係

◇優秀賞（3演題）◇

内野 崇雅（立命館大学）

P-17 一過性運動による唾液IgAの分泌応答に運動様式の差異が及ぼす影響

都築 孝允（名城大学）

P-25 持久的運動が肥満マウスの褐色脂肪における炎症関連タンパク質および脱共役タンパク質発現に与える影響

土橋 祥平（順天堂大学）

P-27 常圧低酸素環境下での高強度トレーニングがラット腓腹筋のミトコンドリア関連タンパク質発現に及ぼす影響

審査について

○審査対象：大学院生および若手研究者（2021年4月1日時点で35歳以下の者）で審査を希望する者

○審査方法

- 1) 一次審査（19演題⇒11演題）；抄録をもとに、学術性を5点満点で審査
- 2) 本審査（11演題⇒5演題）；デジタルポスターをもとに、学術性とプレゼンテーションを各5点満点で審査（7:3）。

○審査員（五十音順、敬称略）

大槻 毅（流通経済大学）、小川 剛司（大阪教育大学）、八田 有洋（東海大学）、宮崎 充功（広島大学）、柳田 信也（東京理科大学）、渡邊 航平（中京大学）

第29回日本運動生理学会大会

大会長 北 一郎（東京都立大学）